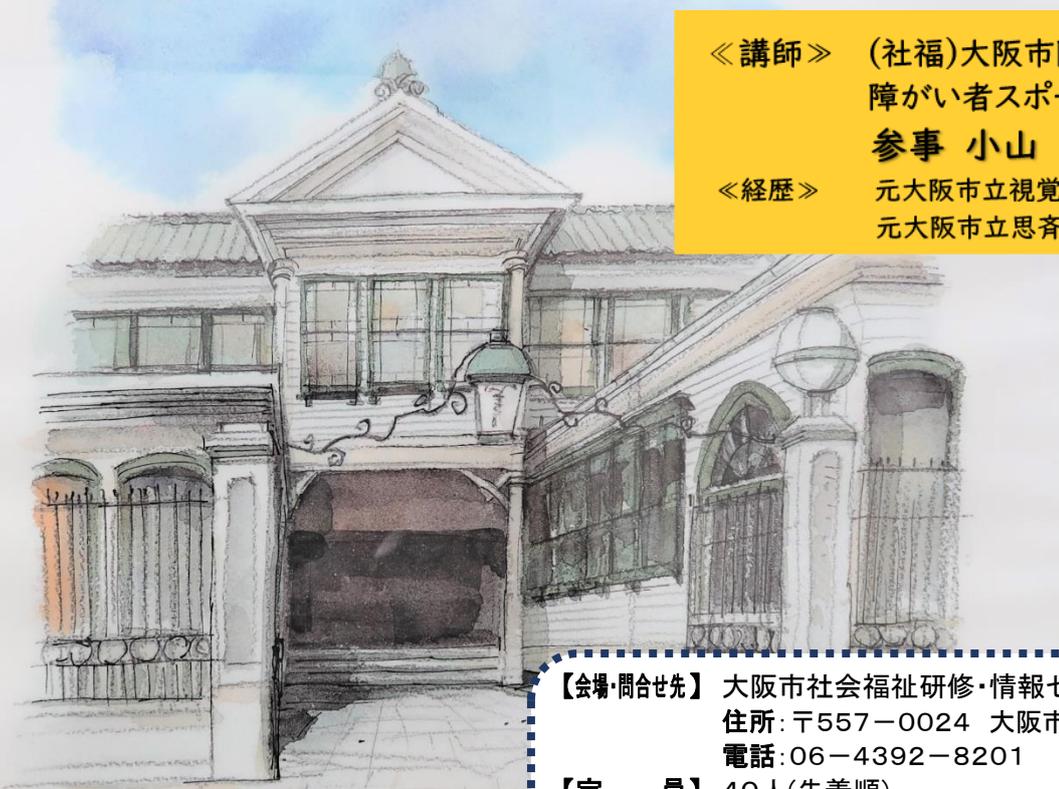


大阪における特別支援教育の歴史を学ぶ

～私立大阪盲啞院・大阪市立思斉学校の設立から今日までの支援教育～

【日時】 令和5年3月4日(土) 午後2時～4時

1900年(明治33年)、実業家・五代五兵衛ごだいごへえによって私立大阪盲啞院(初代院長 古川太四郎ふるかわたしろう)が開設され、大阪における盲啞教育の新たな歴史が始まりました。また、1940年(昭和15年)には、日本初の知的障がいのある児童・生徒を対象とした養護学校として、大阪市立思斉学校が設立されました。これらの設立から今日までの歴史を学び、改めて大阪における特別支援教育について考えましょう。



《講師》 (社福)大阪市障害者福祉・スポーツ協会
障がい者スポーツ振興部スポーツ振興室
参事 小山 直幸 氏

《経歴》 元大阪市立視覚特別支援学校 校長
元大阪市立思斉養護学校 校長



ごだいごへえ
五代五兵衛

【会場・問合せ先】 大阪市社会福祉研修・情報センター4階 会議室
住所: 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
電話: 06-4392-8201

【定員】 40人(先着順)

【対象者】 大阪市内在住・在学・在勤であればどなたでも参加可能

【申込方法】 申込欄に記入のうえ FAX・郵送・持参・電話で受付

【申込締切】 2月20日(月)午後5時必着 ※定員に達し次第締切

私立大阪盲啞院 (南区長堀筋1丁目)

「大阪における特別支援教育の歴史を学ぶ」 FAX:06-4392-8272

(ふりがな) 名前	年齢	歳
	職業	
住所	〒 ー	
連絡先	携帯・自宅	
ご要望	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などが必要な方は、その旨ご記入ください。	

※提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止又は延期する場合があります、予めご了承ください。